

## ● 第7期介護保険事業計画策定に向けたアンケート調査の実施について

◆従前：介護保険事業計画の策定にあたっては、現状の実績値や将来の年齢別人口の変化を基にしたワークシートに基づく自動計算結果（自然体推計）に基づく計画策定が一般的でした。（佐倉市も同様の手法）

◎地域マネジメントや保険者機能の強化が重視される中で、「在宅生活の継続」や「就労継続」に有効なサービス利用のあり方やサービス整備の方向性を保険者が示していくことも求められていることから、次期計画策定にあたり「在宅介護実態調査」を新たに導入することとなりました。

## ◆ 第7期計画策定に係る被保険者の意向調査の実施について

### 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（H29年度にコンサル委託で実施）

- ①対象者：要支援認定者及び一般高齢者
- ②概 要：調査による結果データを厚労省が作成した「見える化」システムに入力することにより、調査結果の地域間比較が容易に可能となる。
- ・調査標本数：要支援認定者 1,000件  
                  ：一般高齢者 1,000件
  - ・調査時期：平成 29 年 7 月～8 月頃

### 2. 在宅介護実態調査（H28年度中に介護認定調査員による聞き取り調査で実施）

- ①対象者：在宅で生活している要支援・要介護認定者のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける（受けた）方
- ②概 要：調査による結果データを厚労省から提供される「自動集計分析ソフト」に入力することにより、支援・サービスの利用実態・ニーズや主な介護者の状況等を解析することが可能となる。
- ・必要標本数：600件（厚労省が示したマニュアルに準拠）
  - ・調査時期：平成 29 年 1 月から概ね4か月程度を想定

### 3. 高齢者の生活実態や制度に対する意向等について

#### 1) 実態調査（アンケート調査）の実施概要

市では、第6期計画策定（第5期計画の見直し）のための基礎資料とすることを目的として、満65歳以上の市民を対象に、生活の実態や制度に対するご意見などを伺うアンケート調査を実施しました。

また、介護保険サービス提供事業者などを対象に、アンケート方式による実態調査を実施しました。

第6期計画策定のための調査

調査名	①一般高齢者調査	②介護保険サービス利用者調査	③介護保険サービス未利用者調査
調査方法	無作為抽出、郵送配布、郵送回収		
調査対象者	・平成26年6月末現在、佐倉市にお住まいの要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方	・平成26年6月末現在、佐倉市にお住まいの要支援・要介護認定を受けた方で、介護保険サービスを利用された方	・平成26年6月末現在、佐倉市にお住まいの要支援・要介護認定を受けた方で、平成26年4月～6月に介護保険サービスを利用されていない方
調査期間	平成26年7月11日(金)～平成26年7月31日(木)	平成26年7月11日(金)～平成26年7月31日(木)	平成26年7月11日(金)～平成26年7月31日(木)
配布数及び有効回収率	・配布数：1,000枚 ・有効回収数：588枚 ・有効回収率：58.8%	・配布数：1,000枚 ・有効回収数：510枚 ・有効回収率：51.0%	・配布数：100枚 ・有効回収数：56枚 ・有効回収率：56.0%

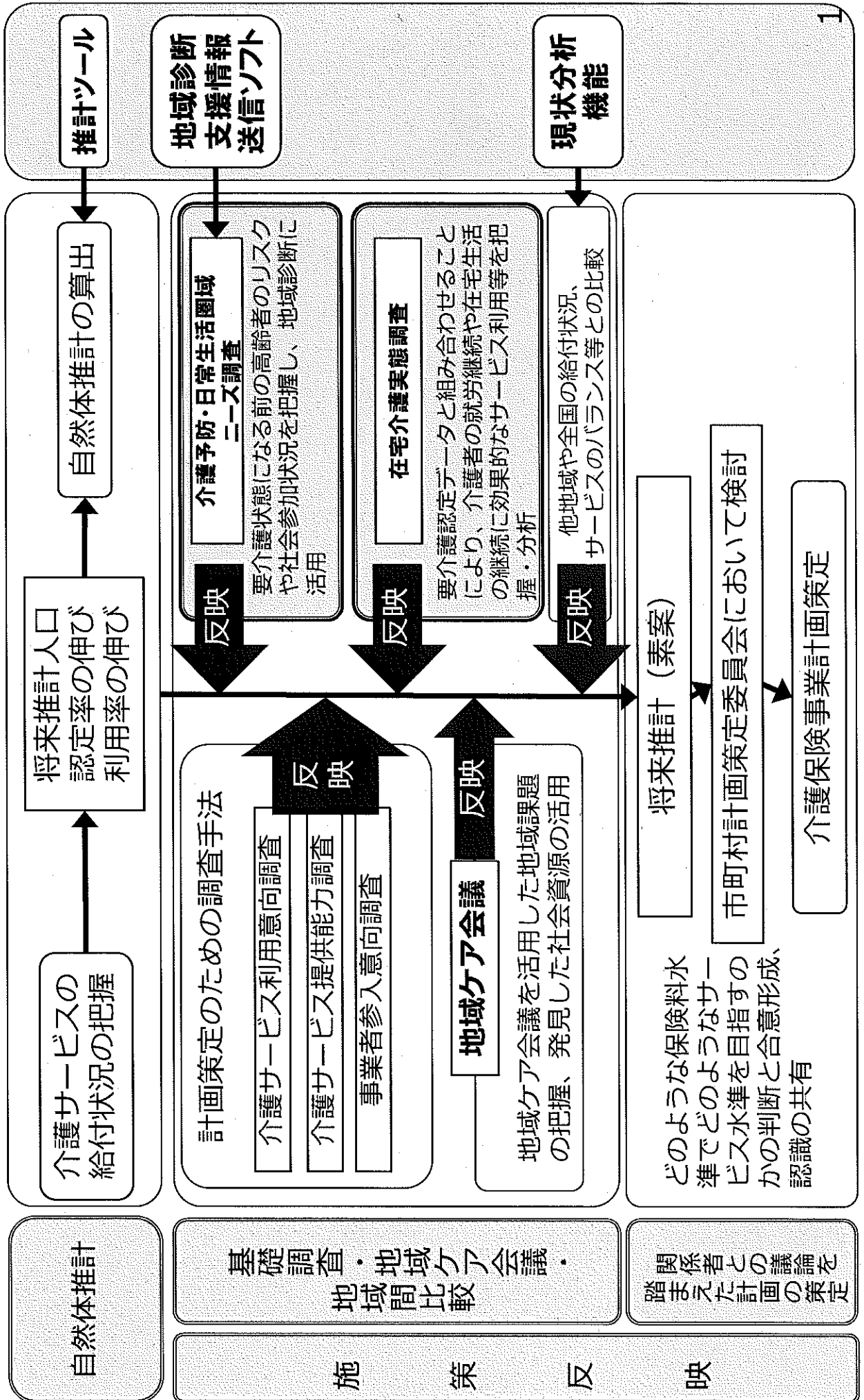
調査名	④特別養護老人ホーム入所希望者調査	⑤介護保険サービス提供事業者調査	⑥地域包括支援センター・居宅介護支援事業所調査
調査方法	無作為抽出、郵送配布、郵送回収	全数調査、郵送配布、郵送回収	
調査対象者	・平成26年8月末現在、佐倉市にお住まいの要介護認定を受けた方で、特別養護老人ホームへ入所希望をされている方	・平成26年6月末現在、介護保険サービスを提供している市内の事業者	・平成26年6月末現在、要支援者のケアマネジメント業務を行う、地域包括支援センターの職員及び指定居宅介護支援事業所の職員
調査期間	平成26年9月12日(金)～平成26年9月30日(火)	平成26年7月15日(火)～平成26年8月15日(金)	平成26年7月15日(火)～平成26年8月18日(月)
配布数及び有効回収率	・配布数：100枚 ・有効回収数：46枚 ・有効回収率：46.0%	・配布数：211枚 ・有効回収数：167枚 ・有効回収率：79.1%	・配布数：55(事業所) ・有効回収数：101枚 ・有効回収率：—

調査名	⑦二次予防事業対象者把握調査
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査対象者	要支援・要介護認定者を除く、志津地区に在住の65歳以上の方
調査期間	平成26年6月13日(金)～平成26年6月27日(金)
配布数及び有効回収率	・配布数：17,000枚・有効回収数：11,228枚・有効回収率：66.0%

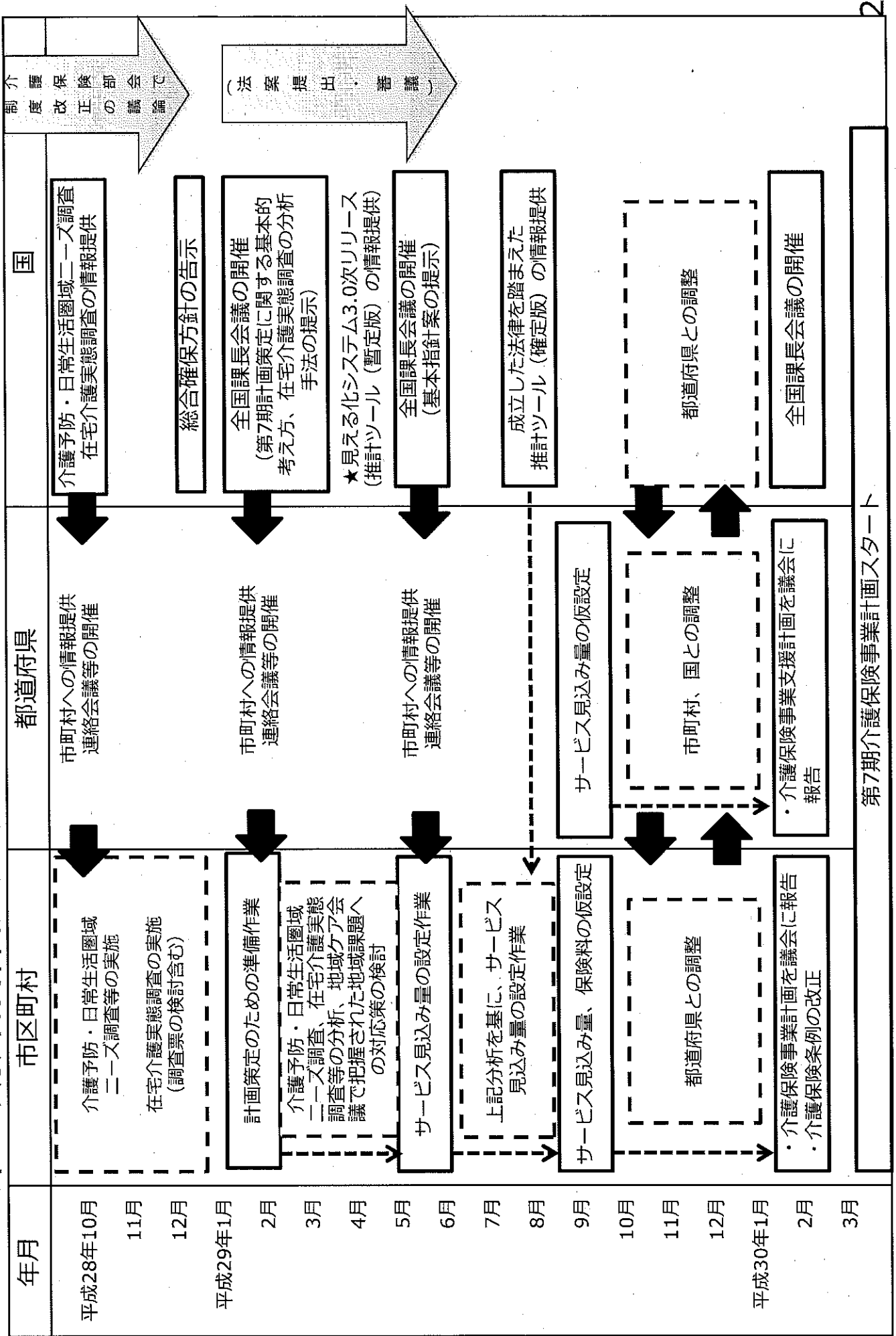
# 第7期介護保険事業計画の策定プロセスと支援ツール

資料 2

《「見える化」システム》



# 第7期介護保険事業計画の策定に向けたスケジュール



第7期介護保険事業計画スタート

## 佐倉市 在宅介護実態調査

調査目的	第7期介護保険事業計画の策定において、これまでの「地域包括ケアの構築」という観点に加え「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点も盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする。	
対象者	在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける(受けた)方  (特定施設入居者生活介護又は地域密着型特定施設入居者生活介護の指定を受けていない有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅などの入居者は在宅と見なし、この調査の対象となる。)	
対象者人数	600人	
対象場所	佐倉市全域	
実施期間	平成29年1月から平成29年4月を予定	(毎月150人から200人の調査を予定)
調査手法	厚生労働省「在宅介護介護調査」実施のための手引きより 「手法Ⅰ.認定調査員による聞き取り調査」を実施  ・市調査員15名・介護認定班職員8名により調査実施 ・認定調査時に在宅介護実態調査について説明し同意後 聞き取りにてA票記入B票は本人の場合は聞き取り、介護者の場合は介護者に記入または聞き取りを行う。  (市役所窓口申請時、調査場所が在宅と確認できた場合は、申請時にできるだけ調査項目を聞き取り、調査時の負担を減らす)	
入力・分析	介護認定班にて対応 (自動集計分析ソフトは年度内に厚労省より提供予定)	

平成28年度 申請区分・調査 実績 (単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	
更新勧奨数		386	475	397	423	351	352	333	2,717	
審査会 審査実施 件数	新規	183	144	200	161	185	173	159	1,205	内 調査場所「在宅」 毎月150~200件
	要支援新規	39	35	36	28	38	33	26	235	
	区変	32	22	29	23	32	25	20	183	
	更新	332	314	380	405	380	367	316	2,494	
	計	547	480	609	589	597	565	495	3,882	
受付件 数	新規	207	193	207	201	193	207	201	1,409	内 調査場所「在宅」 毎月150~200件
	要支援新規	56	31	45	42	42	45	49	310	
	新規-要支援新規	151	162	162	159	151	162	152	1,099	
	区変	34	32	36	31	33	29	25	220	
	更新	355	348	444	366	390	304	316	2,523	
	計	596	573	687	598	616	540	542	4,152	
市調査員・職員 調査数		478	463	512	479	486	491	475	3,384	



--

質問内容					回答欄
聞き取り相手※	1.本人	2.主介護者の家族・親族	3.主介護者以外の家族・親族	4.担当CM 5.その他	※
①世帯	1.単身	2.夫婦のみ	3.その他		
②家族・親族からの介護の頻度(非同居も含む) ※回答が1の場合⑧ ～ 回答が2～5の場合③～⑬へ	1.ない	2.週に1日より少ない	3.週に1, 2日	4.週に3, 4日	
	5.ほぼ毎日				
③主介護者	1.配偶者	2.子	3.子の配偶者	4.孫	
	5.兄弟・姉妹	6.その他			
④主介護者の性別	1.男	2.女			
⑤主介護者の年齢	1.20歳未満	2.20代	3.30代	4.40代	
	5.50代	6.60代	7.70代	8.80代	
	9.不明				
⑥主介護者がおこなう介護内容 ※複数回答可	1.日中の排泄	2.夜間の排泄	3.食事介助(食べる時)	4.入浴・洗身	※
	5.整容(洗顔、歯磨き等)	6.衣服の着脱	7.屋内の移動・移乗	8.外出の付添い、送迎等	
	9.服薬	10.認知症状の対応	11.医療面での対応	12.食事準備	
	13.その他の家事	14.金銭管理、生活面に必要な手続き	15.その他	16.不明	
⑦過去1年で介護を理由で仕事を辞めた家族、親族がいるか(自営業も含む)※複数回答可	1.主介護者が退職	2.主介護者以外の家族、親族が退職	3.主介護者が転職	4.主介護者以外の家族、親族が転職	※
	5.いない	6.不明			
⑧利用している介護保険外のサービスについて(総合事業は介護保険サービスに含む) ※複数回答可	1.配食	2.調理	3.掃除・洗濯	4.買い物(宅配は含まず)	※
	5.ゴミ出し	6.外出同行(通院等)	7.移送サービス(福祉タクシー等)	8.見守り・声掛け	
	9.サロン等の定期的な通いの場	10.その他	11.なし		
⑨今後の在宅生活を継続するために、介護保険や介護保険以外に必要なサービスについて(現在よりもさらに充実すべきサービスも含む) ※複数回答可	1.配食	2.調理	3.掃除・洗濯	4.買い物(宅配は含まず)	※
	5.ゴミ出し	6.外出同行(通院等)	7.移送サービス(福祉タクシー等)	8.見守り・声掛け	
	9.サロン等の定期的な通いの場	10.その他	11.なし		
⑩現時点での施設等への入所、入居の検討状況	1.未検討	2.検討中	3.入所、入居の申し込み済		

⑪調査対象者が現在抱えている傷病 ※複数回答可	1.脳血管疾患(脳卒中)	2.心疾患(心臓病)	3.悪性新生物(がん)	4.呼吸器疾患	※
	5.腎疾患(透析)	6.骨粗鬆症、脊柱管狭窄症等(筋骨格系疾患)	7.膠原病(関節リウマチ含む)	8.変形性関節疾患	
	9.認知症	10.パーキンソン病	11.難病(10の疾病以外)	12.糖尿病	
	13.眼科・耳鼻科疾患(視覚、聴覚障害を伴うもの)	14.その他	15.なし	16.不明	
⑫訪問診療の利用	1.利用中	2.利用していない			
⑬住改、福祉用具貸与・購入以外のサービス利用について ※2を選択した場合、⑭へ	1.利用中	2.利用していない			
⑭介護保険サービスを利用しない理由 ※複数回答可	1.利用するほどの状態ではないから	2.利用希望がないから	3.家族が介護するから	4.以前利用したサービスが不満だったから	※
	5.利用料が払うのが難しい	6.利用したいサービスが利用できない、身近にない	7.住改、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	8.手続きが利用方法が不明なため	
	9.その他				

# B

質問内容					回答欄
①主介護者の勤務形態(一般的な就労時間、日数から選択)※ 3、4を回答した方は⑤へ	1.フルタイム	2.パート	3.働いていない	4.確認しないと不明	
②介護のために働き方の調整等はしていますか。 ※複数選択可	1.していない	2.残業免除、時短勤務等で調整しながら勤務	3.年休や介護休暇等を取得して勤務	4.在宅勤務を利用している	※
	5.その他	6.確認しないと不明			
③勤務先からどんな支援があれば仕事と介護の両立に効果がありますか ※3つまで選択可	1.自営・フリーランス	2.介護休業、休暇等の制度の充実	3.制度を利用しやすい職場づくり	4.フレックスタイム制等の労働時間の柔軟な選択	※3つまで
	5.働く場所の多様化(在宅勤務やテレワーク)	6.仕事と介護の両立に必要な情報提供	7.介護の相談窓口、担当者の設置	8.介護をしている従業員への経済的支援	
	9.その他	10.なし	11.確認しないと不明		
④今後も働きながら介護を続けていけそうですか。	1.問題なく続けられる	2.問題はあるが、何とか続けていける	3.続けていくのはやや難しい	4.続けていくのはかなり難しい	
	5.確認しないと不明				
⑤今後、生活を継続するなかで、主介護者が不安に感じる介護等について(3つまで選択可)	1.日中の排泄	2.夜間の排泄	3.食事介助(食べる時)	4.入浴・洗身	※3つまで
	5.整容(洗顔、歯磨き等)	6.衣服の着脱	7.屋内の移動・移乗	8.外出の付添い、送迎等	
	9.服薬	10.認知症状の対応	11.医療面での対応	12.食事準備	
	13.その他の家事	14.金銭管理、生活面に必要な手続き	15.その他	16.ない	
	17.確認しないと不明				